

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 大宮 久
 (氏名) 松崎 修一郎

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	147,932	△1.1	9,253	2.4	9,499	4.4	5,342	△10.8
21年3月期第3四半期	149,565	—	9,034	—	9,099	—	5,986	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	25.35	25.34
21年3月期第3四半期	27.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	200,948	108,565	47.9	457.56
21年3月期	190,792	105,316	48.8	437.42

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 96,171百万円 21年3月期 93,093百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.50	8.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,300	△0.3	8,900	0.6	9,000	3.4	5,000	△11.3	23.74

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	217,699,743株	21年3月期	217,699,743株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	7,516,073株	21年3月期	4,874,064株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	210,782,193株	21年3月期第3四半期	214,762,343株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年11月5日発表の連結業績予想の見直しは行っていません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、5ページ「定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年金融危機に端を発した景気低迷が、海外の景気回復に支えられた輸出の増加により若干持ち直しの気配を見せてまいりました。しかしながら、企業の設備投資意欲は依然として弱く、また雇用情勢や所得環境の先行き不安から個人消費の回復は遅れております。

このような状況のもと、当社グループは、2期目を迎えた第7次中期経営計画の達成に向け、着実な経営活動に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内景気の低迷を受け、前年同期比98.9%の147,932百万円と若干の減収となりましたが、原材料価格の安定に加え徹底したコストダウンにより、売上総利益は前年同期比101.4%の58,587百万円と増益となりました。また販売費及び一般管理費は若干増加したものの、営業利益も前年同期比102.4%の9,253百万円と増益となりました。営業外損益では受取利息の減少などがありましたが、為替変動による影響が前年の為替差損から為替差益に転じたことにより、経常利益も前年同期比104.4%の9,499百万円と増益となりました。

特別損益では、前年に比べ固定資産売却益が減少しましたが特別損失も減少したため、税金等調整前四半期純利益も前年同期比101.5%の9,277百万円と増益となりました。一方、前年に繰延税金資産の回収可能性発生に伴う法人税等調整額のマイナス計上という特殊事情があったことにより、四半期純利益は前年同期比89.2%の5,342百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績及び品種別販売実績（外部売上高）は以下のとおりです。

（酒類・調味料セグメント）

酒類・調味料セグメントでは、国内景気低迷に伴う消費者の買い控えや低価格志向が進展し、贈答市場や業務用市場を中心に厳しい状況が続いています。このようななか、当社グループの強みである、差別化された高品質の商品群の個々の特性を徹底的に訴求し、消費者の立場に立った営業活動を展開いたしました。低価格商品へのシフトもあり減収となりました。製品別には、逡減傾向の続く清酒が大きく減少し、ワインや、為替換算による目減りの影響の大きかったウイスキーが減少しましたので、ソフトアルコール飲料や原料用アルコール等が増収となったものの、セグメント全体の外部売上高は前年同期比99.3%の124,186百万円となりました。セグメント間の売上高も含めたセグメント売上高は同99.2%の124,678百万円となり、販売費及び一般管理費の増加はあったものの、コストダウンによる売上原価の減少が寄与し、セグメント営業利益は同100.2%の9,019百万円とわずかながら増益となりました。

（バイオセグメント）

バイオセグメントでは、遺伝子工学研究分野における研究用試薬の売上高は円高の影響により減少いたしましたが理化学機器の売上高が大幅に増加し、遺伝子医療分野も増収となりましたので、外部売上高は前年同期比101.9%の13,255百万円、セグメント売上高は同101.1%の13,563百万円と若干の増収となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い前年同期比101.3%の6,387百万円となりましたので、売上総利益は前年同期比100.8%の7,176百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費が増加したものの販売促進費や管理費の減少等により前年同期比97.6%の6,883百万円となりましたので、セグメント営業利益は前年同期比438.4%の292百万円と大きく増加いたしました。

（物流セグメント）

物流セグメントでは、景気低迷の影響を受け、外部売上高は前年同期比90.5%の6,022百万円と大きく落ち込みましたが、他セグメント向けのグループ内売上高は、ほぼ前年同期並みとなったため、セグメント売上高は同94.5%の12,364百万円となりました。売上総利益も同96.6%の847百万円となり、販売費及び一般管理費も若干増加したため、セグメント営業利益は同85.1%の304百万円と減益となりました。

（その他セグメント）

その他セグメントの外部売上高は前年同期比91.5%の4,466百万円、セグメント売上高は同96.0%の8,764百万円と減収となりましたが、売上原価および販売費及び一般管理費の減少により、セグメント営業利益は同185.9%の159百万円となりました。

品種別販売実績

事業の種類別セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
酒類・調味料			
焼酎	59,596	59,622	100.0
ソフトアルコール飲料	16,172	16,764	103.7
清酒	18,408	17,257	93.7
その他酒類	8,564	7,406	86.5
酒類計	102,741	101,050	98.4
本みりん	12,672	12,198	96.3
その他調味料	4,653	5,178	111.3
調味料計	17,326	17,377	100.3
原料用アルコール等	3,802	4,603	121.1
その他	1,153	1,155	100.2
計	125,024	124,186	99.3
バイオ	13,006	13,255	101.9
物流	6,654	6,022	90.5
その他	4,880	4,466	91.5
合計	149,565	147,932	98.9

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、年末繁忙期の売上増加による売上債権の増加13,822百万円により流動資産が増加したため、前連結会計年度末と比べ10,156百万円増加し200,948百万円となりました。負債は年末の銀行休日などによる未払酒税の増加5,461百万円により前連結会計年度末に比べ6,907百万円増加し92,382百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加3,531百万円などにより、株主還元策としての自己株式の取得がありましたが、前連結会計年度末に比べ3,248百万円増加し108,565百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益9,277百万円や減価償却費3,589百万円がありましたが、例年の年末繁忙期の売上増加による売上債権の増加額△13,777百万円がありましたので、未払酒税の増加額5,461百万円や法人税等の支払額△3,988百万円なども加え前年同期間とほぼ同じ2,490百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出△2,501百万円その他、資金の短期運用としての定期預金の預入△5,494百万円（払戻とネット）や有価証券の売却及び償還による収入2,539百万円などにより△5,829百万円となり、前年同期間に比べ△3,853百万円の支出超過となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、株主還元策としての自己株式の取得による支出△1,377百万円および配当金の支払額△1,810百万円などにより△3,226百万円となり社債の償還のあった前年同期間に比べ6,007百万円の支出減少となりました。また、現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に比べ5,907百万円減少し、27,087百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

弊社子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号4974 東証マザーズ）が平成22年1月29日に公表いたしました平成22年3月期第3四半期決算短信において、同社の通期連結業績予想及び（参考）個別業績予想を修正しております。詳細は同社決算短信をご参照下さい。

なお、当社の平成21年11月5日に公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。当社グループは従来より売上高の第3四半期連結会計期間のウェイトが高く、利益も当連結会計期間に集中する傾向にありますが、現在までの売上高および各利益の進捗はほぼ予想通りであります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,118	25,596
受取手形及び売掛金	60,130	46,307
有価証券	10,310	16,350
商品及び製品	19,358	19,895
仕掛品	877	1,060
原材料及び貯蔵品	3,297	2,778
その他	4,992	4,830
貸倒引当金	△97	△91
流動資産合計	126,988	116,728
固定資産		
有形固定資産	43,250	44,045
無形固定資産	4,064	4,484
投資その他の資産		
投資有価証券	19,745	18,429
その他	7,171	7,372
貸倒引当金	△272	△268
投資その他の資産合計	26,644	25,534
固定資産合計	73,959	74,063
資産合計	200,948	190,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,927	14,420
短期借入金	5,039	5,062
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	13,363	7,902
未払費用	4,191	3,544
未払法人税等	2,033	2,285
引当金	2,904	3,466
その他	6,002	5,476
流動負債合計	53,463	42,158
固定負債		
社債	15,000	20,000
長期借入金	5,617	5,548
退職給付引当金	9,371	9,093
長期預り金	6,391	6,464
その他	2,540	2,209
固定負債合計	38,919	43,317
負債合計	92,382	85,475

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,198	3,198
利益剰余金	84,450	80,918
自己株式	△4,648	△3,212
株主資本合計	96,226	94,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,105	2,340
繰延ヘッジ損益	△8	△19
為替換算調整勘定	△3,152	△3,358
評価・換算差額等合計	△55	△1,037
少数株主持分	12,393	12,222
純資産合計	108,565	105,316
負債純資産合計	200,948	190,792

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	149,565	147,932
売上原価	91,788	89,345
売上総利益	57,776	58,587
販売費及び一般管理費		
販売促進費	20,174	20,773
販売促進引当金繰入額	1,685	1,770
賞与引当金繰入額	572	583
その他	26,309	26,206
販売費及び一般管理費合計	48,741	49,333
営業利益	9,034	9,253
営業外収益		
受取利息	233	—
受取配当金	419	301
その他	276	476
営業外収益合計	929	777
営業外費用		
支払利息	459	429
為替差損	247	—
その他	158	101
営業外費用合計	864	530
経常利益	9,099	9,499
特別利益		
固定資産売却益	698	7
持分変動利益	—	6
その他	66	—
特別利益合計	764	14
特別損失		
固定資産除売却損	159	147
投資有価証券評価損	289	—
その他	270	89
特別損失合計	719	236
税金等調整前四半期純利益	9,144	9,277
法人税、住民税及び事業税	3,933	3,531
法人税等調整額	△741	304
法人税等合計	3,191	3,836
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△33	99
四半期純利益	5,986	5,342

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,144	9,277
減価償却費	3,762	3,589
受取利息及び受取配当金	△653	△393
支払利息	459	429
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,738	△13,777
たな卸資産の増減額 (△は増加)	186	405
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,818	469
未払酒税の増減額 (△は減少)	5,800	5,461
その他	501	979
小計	6,281	6,441
利息及び配当金の受取額	699	431
利息の支払額	△428	△394
法人税等の支払額	△4,361	△3,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,189	2,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,760	△8,232
定期預金の払戻による収入	1,597	2,737
有価証券の取得による支出	△1,601	—
有価証券の売却及び償還による収入	—	2,539
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,989	△2,501
有形固定資産の売却による収入	1,983	26
その他	△205	△398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,975	△5,829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△2,221	△1,377
配当金の支払額	△1,840	△1,810
その他	△171	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,233	△3,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	△336	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,356	△6,578
現金及び現金同等物の期首残高	42,350	33,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,994	27,087

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	酒類・ 調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	125,024	13,006	6,654	4,880	149,565	—	149,565
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	602	413	6,434	4,246	11,696	(11,696)	—
計	125,626	13,419	13,088	9,126	161,261	(11,696)	149,565
営業利益	9,001	66	358	85	9,512	(477)	9,034

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	酒類・ 調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	124,186	13,255	6,022	4,466	147,932	—	147,932
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	491	307	6,341	4,297	11,438	(11,438)	—
計	124,678	13,563	12,364	8,764	159,371	(11,438)	147,932
営業利益	9,019	292	304	159	9,776	(523)	9,253

- (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	研究用試薬、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料、遺伝子導入関連製品、キノコ、ブナシメジ特許実施許諾対価料、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、健康食品

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。